

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2015年4月～2015年3月

1. 学校概要

学校名 稲城第三小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒206-0801
東京都稲城市大丸100

E-mail : inagi3el0001@educet01.plala.or.jp

Website : http://academic3.plala.or.jp/inagi3el/

児童生徒数：男子 277名 女子 265名 合計 542名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、ユネスコスクールとして、学校経営方針の中でE S D教育の主軸を人権教育に据えて、全教科領域で推進している。人権教育を推進している学校として「人を思いやる心」を育てている。

人権集会 学校長による全校児童への人権講話を行った。年間6回。学級ごとに講話を受け人権について、話し合いをしたり、感想を書いたりと常時の活動を進めてきた。

人権の花 人権の花として栽培委員会を中心に、児童が花を育てている。育てた花には児童がそれぞれ植木鉢に人権メッセージを書き込む。花は学区内のお世話になった方や、施設や店舗におくった。町に人権メッセージがあふ児童と町の人をつないでいる。また、今年度は稲城市民祭で人権の花についてのパネル発表も行った。

人権掲示板 本校には全校児童が通る2階廊下の人権掲示板がある。全学年が人権に関する学習での学びを掲示する。教科だけではなく行事等あらゆる場面で児童には人権について学ぶ場面があることを伝えている。

1, 2年生 道徳の時間に感謝の心やともだちのいいところなどについて考えた 地域のお年寄りや幼稚園児保育園児との交流活動を通し、年齢の異なる他者への理解や思いやる気持ちを感じ学んでいる。

3年生 地域での学習を生かし、伝統的な梨農家での体験や農家の方とのふれあい代々地域に伝わる神社の獅子舞などについて調べる学習を通して、それらに関わる人の思いや、伝統をつないできた地域の伝統を感じ学んだ。

4年生 総合的な学習の時間に、視覚障害、聴覚障害の方たちからお話を伺い、車椅子や白杖体験をした。障害への理解を深めるとともに、どのように接することが相手を思いやることなのかを考え学んだ。

5年生 総合的な学習の時間には国際理解について学習を進めた、講師の台湾の方の話聞く中で、外国との文化の違いを考えながら、外国の方とのふれあいを通して、国際理解を更に深め、学ぶことができた。

6年生 ハンセン病についての学習を進める中で、患者の方が請けた差別や、生活について考えた。施設の見学を通し、差別に対する個々の思いを持つことができ、自分で何ができるか、将来に向けて行動を考えることができた。

特別支援学 異学年集団による授業が多く取り入れられている。高学年が低学年のお世話をし、低学年がお礼言える。友達や年齢の違うお兄さんお姉さんとのふれあいの中で、おもいやる心を学ぶことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)